

橋本神社・菓子祭 (令和3年4月4日)

朝日新聞 (4月5日)

苦境の菓子業界 祈り届け 海南



祝詞を読み上げる前山和範宮司＝いずれも海南市下津町橋本

全国各地から奉納された菓子



菓子の神様「田道間守命」をまつる橋本神社(海南市下津町橋本)で4日、「菓子祭・全国銘菓奉納祭」があった。新型コロナの収束

と商売繁盛を願って、全国各地から菓子が奉納された。この祭りは1965年に始まり、今年で57回目。県内をはじめ、北海道から九州までの製菓会社や菓子店など178カ所からようかんやスナック菓子などが奉納された。

前山和範宮司(57)のもとには「コロナ禍で観光も落ち込み、土産物店で菓子が売れない」といった悲痛な手紙が届いているという。前山宮司は、コロナ収束と

商売繁盛、そして菓子で人々が笑顔になれるようにと、祝詞を読み上げた。

有田ミカンなどを使ったバウムクーヘンを奉納した海南市野上新の工房「おかし工房 sawa」は、駅やサービスエリアなどでの販売が落ち込み、昨年の売り上げが半減したという。工房代表の抜井友希さん(42)は「それでもいまが頑張り時だ。コロナが落ち着いて、また多くの人に、和歌山に来てもらっておいしいお菓子を食べてもらいたい」と願った。

(西岡矩毅)

毎日新聞 (4月5日)

商売繁盛願い 銘菓奉納

橋本神社で菓子祭

海南 ミカンと菓子の神様「田道間守(たじまもり)」をまつる橋本神社(海南市下津町橋本)で4日、「菓子祭・全国銘菓奉納祭」があった。商売繁盛を願い、全国の178社から約300種類の菓子が奉納された。祭りは1965年に始まり、今年で57回目。前

山和範宮司が祝詞を読み上げ＝写真、みこが舞を披露。菓子や果物の生産を手掛ける業者らの代表約60人が玉串を奉納した。新型コロナウィルス感染症対策のため、恒例の餅投げや懇親会は中止した。伝承では田道間守がミカンの原種・橘(たちばな)を日本に持ち

帰ったとされ、同神社近くに植えられたという。参列した観音山フルーツガーデン(紀の川市)の児玉芳典社長

(44)は「日ごろ生産・販売できていることへの感謝の気持ちをお伝えした」と話していた。

【木村綾】



コロナの中全国から奉獻菓子

第57回 菓祖橋本神社「銘菓奉獻会」

菓子業の祖神として知られる橋本神社(和歌山 司)では、毎年恒例の第57回「銘菓奉獻会」を四



㊤奉獻会の模様 ㊦挨拶を述べる前山宮司

から続くコロナ禍に配慮して、参加者全員のマスク着用他の感染防止対策をしての開催となった。雨天の子報で、境内には大型テントを設置、イス50脚程が配置された。今年のは校の満開時が一週間ほど早かったとのことだが、初夏を感じる薫風に散る花びらが境内に舞う(雨は一時パラパラ程度)心地よい状況にて刻に国旗掲揚から祭典の進行となった。

その後、太鼓、修祓、宮司一拝、献饌、祝詞奏上、浦安の舞、玉串奉天(参加の菓子業界代表、企業代表)撤饌、宮司一拝、太鼓の順で厳かに執り行われた。(地元児童

による田道間守公の歌は今回中止)

前山宮司の祝詞奏上では、菓子及び業界の繁栄を祈願、全国からの奉獻菓子献上企業名の口上と共に、コロナウイルスの早期終息を祈願。奉獻祭後に行われる餅投げ・お菓子投げと、菓子業界参加者の直会を取り止めとなった。

「DAGASHIで世界を笑顔にする会」の会長秋山秀行氏(株大町・社長)は祝辞の中で、この会の状況を報告。「今年もコロナ禍で、子供たちの笑顔とだかしを交換する直接のイベントができなかった。この会の趣旨の一つである東日本

大震災被災地の子どもたちを笑顔にするということは続けたかったもので、10年目を迎えた三月11日に、現地の子供たちとズームでつなぎ慰霊の交換をした。各地での開催は可能だったので、今年250カ所であった。また、全国で医療従事者として頑張っている看護師さんたちが少しでも元気になるようにと各地の病院で「だかしと笑顔の交換」も実施していると語った。

また、大町が展開する「日本」の「だかし売場」で、田道間守公をお祀りする「だかし神社」の分霊式を行ったことも披露。

また、前山宮司は参集した方へのお礼の言葉で「今日は雨天の子報だったが、このお祀りには今

まで一度も雨に降られたことがない、皆様の熱意で雨に降られず開催出来ることを喜びたい」と語り、また「コロナ禍の中でも全国各地から菓子業界178社から献上のお菓子が届いた」と披露。「本来なら、もち投げ、お菓子投げをしてたくさんの子供たちに集まっていたできるように、一刻も早く元の生活に戻るよう祈願して行きたい」と語った。

橋本神社 (海南市下津町橋本)



厳かに神事

4/4

菓子業界の発展、
コロナ収束を祈り…
「菓子まつり」

▽:「橋は美さえ花さえ
その葉さえ枝に霜降れど
弥常葉の樹」

お菓子の神様「田道間
守命」を祀る「橋本神社」
(海南市下津町橋本)で4
月4日「全国銘菓奉獻祭」
(菓子まつり)が開催。同
神社の前山宮司による祝

詞奏上、関係者による玉
串奉奠、巫女舞奉納など
厳かに神事が行われ、関
係業界のますますの発展
と、新型「コロナウィルス」
の収束を祈った。



前山宮司

祭壇には今年も大手菓
子メーカーや菓子店など
全国から約10社からの奉

お菓子の神様
「田道間守命」に願



奉納されたお菓子がズラリ

納されたお菓子が並べら
れた。今年も、コロナの感
染防止のため「モチ投げ」
は中止した。

菓子業界は、コロナ禍
でインパウンドの激減
や、緊急事態宣言の「菓ご
もり」による土産物用の
菓子の販売不振などで大

きな打撃を受けている—
お菓子の神様に「Wi
thコロナ」アフターコロ
ナを生き抜くアイデアと
パワーをいただきたい思い
だろウ…。

奉納されたお菓子は、市
内の施設などに寄付して喜
ばれた。